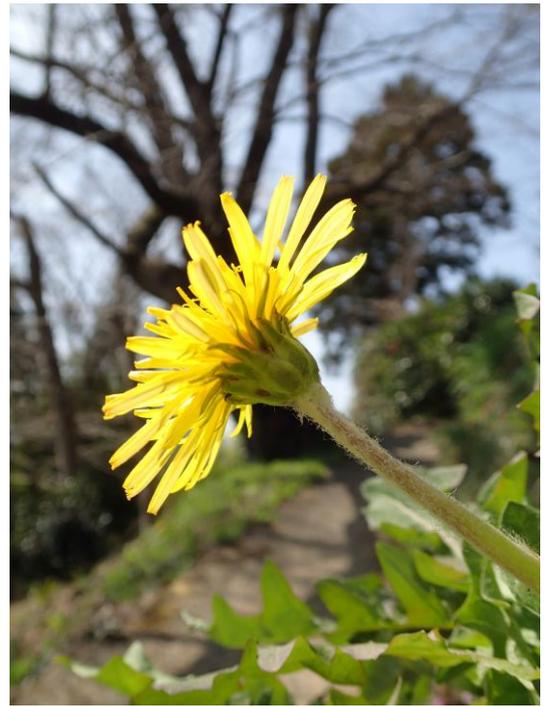


〈出会いの楽しみ〉

藤野にカタクリの自生地があるので見に行った。が、まだ早すぎたようでチラホラしか咲いていない。目的地を陣馬山に変えて“花見山行”としゃれこんだ。登山目的ではないので、花を探しながらノンビリ歩く。最初に目に留まったのはカントウタンポポ。まだ西洋に凌駕されずに頑張っている。斜面の畑に生えていたのはトウダイグサ。不思議な花のつき方をしている。暖かいせいか、テングチョウやキタキチョウが盛んに飛び回っていた。キケマンやムラサキケマンは下山道で見つけた。これも、変わった咲き方をする花だ。この花の形はどうやらハチの受粉と関係しているらしい。5弁の黄色い花はへビイチゴのようだ。地面に這いつくばるようにして咲いていたのはキランソウ。濃い紫がきれいでわざわざ庭に植えている草だ。この時期、花たちは競って咲き始めるので、うかうかしていると匂を逃してしまふ。どこでもいい、行く先々で出会いの瞬間を楽しもうと思う。何に出会えるか、まさにその時の運次第。そこがいいしそれが楽しい。自然は生きているのだ。



〈キケマン〉

〈ムラサキケマン〉

〈トウダイグサ〉

〈へビイチゴ?〉

〈キランソウ〉

